

## 公益財団法人日本バレーボール協会 2018年度第7回理事会(定例) 概要

1 日 時：2019年3月12日(水) 13:00~14:50

2 会 場：日本バレーボール協会 会議室

### 3 出席者：

理事総数 19名

出席理事 17名

会長（代表理事） 嶋岡健治

副会長（理事） 志水雅一、岡野貞彦

専務理事（代表理事） 八田茂

業務執行理事 鳥羽賢二、鍛冶良則

理事 荒木田裕子、加治健男、川合俊一、小柴滋、坂本友理、  
須藤実和、田中祥子、原卓弘、丸山由美、山口香  
桐原勇人

監事総数 3名

出席監事 2名 西川秀人、廣紀江

本部長総数 3名

出席本部長 3名 小田桐隆司、村上成司、灰西克博

4 議 長：嶋岡健治

### 5 決議事項

- (1) 第10期(2019年度)事業計画について
- (2) 第10期(2019年度)予算について
- (3) 組織の改編について(事務局規程の改定)
- (4) 役員担務の変更及び重要な使用人の選任について
- (5) コンプライアンス違反の処分について
- (6) 功労者 I 及び特別功労者の表彰決定について

### 6 議事の経過の要領及びその結果

会長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第41条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。続いて、議事録記名押印理事に鍛冶業務執行理事を選出

し、議案の審議に入った。

### (1) 第10期（2019年度）事業計画について

第10期（2019年度）事業計画について説明がなされ、賛否を諮り承認可決された。

※第10期（2019年度）事業計画の詳細については資料記載の通り

事業計画に関連して、インドアとビーチバレーボールの2019年度の出場予定大会日程と2020東京五輪大会までの強化スケジュールについて、説明があった。

また、2019年度体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策について下記の通り説明があった。

JVAでは、これまで体罰・暴力の相談窓口の設置やコンプライアンス規程の制定、コンプライアンス委員会の設置等を行い、体罰・暴力・ハラスメント撲滅に向けての体制を整えてきた。しかし、実際は、起きてしまった体罰・暴力の事案に対して指導者資格の停止や登録抹消等の処分を決定することが主であり、根本的な解決には至っていなかった。

JVAではこのような状況を受け、体罰・暴力・ハラスメントの抑止・撲滅対策を早急に講じることが必要であると判断し、4月1日付けで体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策部を立ち上げ、5つの重点課題（1.部活動実態調査、2.部活支援WEBサイトの立ち上げ、3.人材支援、4.表彰制度／ロールモデル作り、5.各種講習会の開催）を掲げ、実行に移すこととした。

### (2) 第10期（2019年度）予算について

第10期（2019年度）予算について下記の通り説明がなされ、賛否を諮り承認可決された。

2018年度は当初、26億円の収入に対して、33億円の支出を見込み、7億3,000万円の赤字予算でスタートさせたが、世界バレーの大会経費改善が1億6,000万円、JOCの交付金の増額が6,000万円、バレーボールネーションズリーグの収支改善が5,000万円、日韓親善試合の利益が3,000万円、ビーチのワールドツアーで新規協賛金獲得が2,000万円となり、年度全体では、3億円強の収支改善により、4億円ほどの赤字で今年度を終了出来る見込みである。

2019年度の収支予算については、収入が31億6,400万円、支出は35億5,600万円となり、約3億9,300万円の赤字予算を計上している。

赤字の主な要因は3つの国際大会[ビーチバレーボールワールドツアー（4スター）大会、ワールドカップ男女大会、バレーボールネーションズリーグ]であるが、更に体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策部と新規事業企画部の新設による5,000万円の活動予算を計上したことによる。

なお、公益目的事業費率は92%であり、この数値が50%以上あることが公益財団としてのひとつの条件であるが、十分満たしている。

※第10期（2019年度）予算書の詳細は、資料記載のとおり

### (3) 組織の改編について（事務局規程の改定）

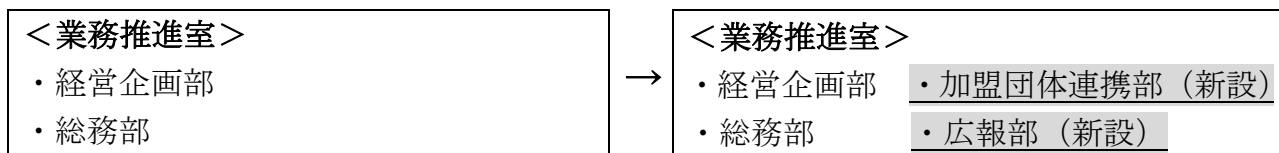
組織の改編および事務局規程の改定について説明がなされ、賛否を諮り承認可決された。

今回の組織改編は、昨年策定した中期経営計画を推進するための体制であり、組織の機動力をあげて、成果を追求する狙いがある。

●事務局に以下組織を置く。（主な変更点は下線部分の通り）

（現在）

（2019年4月1日以降）

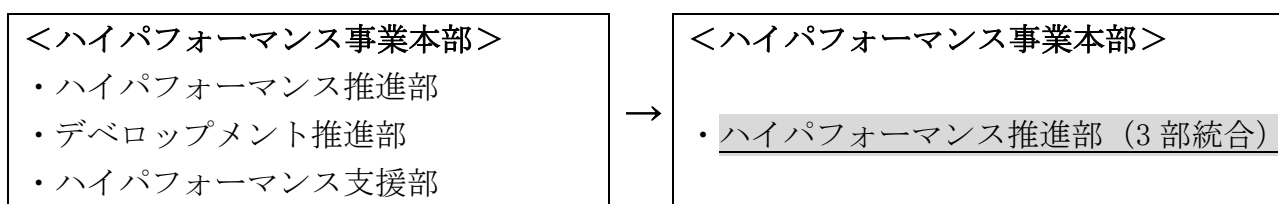


[加盟団体連携部]

加盟団体との連携事業に関すること（助成金、法人化支援、MRS登録管理システムの運用等）

[広報部]

広報活動に関すること、デジタルコンテンツに関すること、加盟団体、各種大会実行委員会等の広報・報道等に対する協力、指導及び必要な助成に関すること



[ハイパフォーマンス推進部]

バレーボール及びビーチバレーボールの国際競技力向上戦略の策定と関係諸団体等との強化戦略の連動に関すること

アンチ・ドーピングに関すること、競技者拡大に関すること等

<p>&lt;国際事業本部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際業務部</li> </ul>
<p>&lt;国内事業本部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内業務部</li> </ul>
<p>&lt;ビーチバレーボール事業本部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチバレーボール業務部</li> </ul>



<p>&lt;大会運営事業本部&gt; (再編)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会運営部 (大会運営機能の統合)</li> </ul>

[大会運営部]

国内で行われる FIVB、AVC、JVA が主催する国際・国内競技大会開催に関すること等

※[ビーチバレーボール事業本部] (再編・廃止)

ハイパフォーマンス事業本部と大会運営事業本部に機能が移管される。

<p>&lt;マーケティング戦略事業本部&gt;</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング戦略推進部</li> <li>・マーケティング・コミュニケーション部</li> </ul>



<p>&lt;マーケティング事業開発本部&gt;</p> <p>(名称変更)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング戦略推進部</li> <li>・マーケティング・コミュニケーション部</li> </ul> <p>(一部業務を広報部に移管)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業企画部 (新設)</li> <li>・国際事業企画部 (新設)</li> </ul>

[マーケティング・コミュニケーション部]

日本代表チームの販促・宣伝活動に関する事、バレーボールファンの拡大に関する事等

[新規事業企画部]

新規事業の開発・企画に関する事、JVA ビジネスモデルの再構築に関する事、JVA の IT に関する事等

[国際事業企画部]

FIVB、AVC 及びその他国際機関に対する窓口業務及び連絡調整に関する事  
国際スポーツ交流に関する事、ボールバンクに関する事等



<p>&lt;指導普及事業本部&gt; (新設)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導普及推進部 (新設)</li> <li>・体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策部 (新設)</li> </ul>

[指導普及推進部]

指導者の養成と資質向上に関すること等

[体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策部]

事案への対応に関すること、予防に関すること、

体罰・暴力・ハラスメント撲滅に向けた加盟団体との連携に関すること等

※なお、事務局組織と事務局規程の詳細は資料記載の通り。

#### (4) 役員担務の変更及び重要な使用人の選任について

役員担務の変更及び重要な使用人の選任について説明がなされ、決議を諮り承認可決された。

##### 【役員担務の変更について (2019年4月1日付)】

氏名	新職務	現職務
八田茂	専務理事 (代表理事) 兼 マーケティング事業開発本部長 兼 指導普及事業本部長	専務理事 (代表理事) 兼 事務局長 兼 ビーチバレーボール事業本部 兼 東京 2020 大会準備室長
鍛冶良則	業務執行理事 事務局長 兼 東京 2020 大会準備室長	業務執行理事 業務推進室長 兼 総務部長

##### 【重要な使用人の選任について (2019年4月1日付)】

氏名	新職務	現職務
高野和弘	業務推進室長 兼 マーケティング事業 開発本部新規事業企画部長	
灰西克博	業務推進室副室長 兼 総務部長 兼 加盟団体連携部長	マーケティング戦略事業本部長
千々岩靖浩	マーケティング事業開発本部副本部長 兼 マーケティング戦略推進部長	マーケティング戦略事業本部 マーケティング戦略推進部長
村上成司	大会運営事業本部長 兼 大会運営部長	国内事業本部長 兼 国内業務部長
小田桐隆司	ハイパフォーマンス事業本部副本部長 兼 ハイパフォーマンス推進部長	国際事業本部長 兼 国際業務部長
小田勝美	ハイパフォーマンス事業本部副本部長 兼 ハイパフォーマンス推進部ビーチ バレーボール強化部長	ビーチバレーボール事業本部副本 部長 兼 ビーチバレーボール業務部長

## (5) コンプライアンス違反の処分について

コンプライアンス違反の処分案について説明がなされ、賛否を諮り承認可決された。

### 【案件 1】

#### 1. 対象者

役職 : 埼玉県高等学校教諭 同校女子バレーボール部元顧問  
保有資格 : 日本スポーツ協会公認指導員

#### 2. 確認された事実 (概要)

##### (1) 概要

2018年1月ごろ、高等学校体育館において、5m位の距離からのレシーブ練習中にボールが被害者の顔面に1回当たった。加害者本人の弁明によれば、その時、感情的になっていたため、故意に当てたと取られても仕方がないと述べている。

また、2017年4月ごろから暴言（「でてけ」「やめろ」といった内容の乱暴な言葉遣い）が何回かあった。

#### 3. コンプライアンス違反と認定する理由

コンプライアンス規程第6条（禁止事項）、2（1）の暴力行為に該当するため。

#### 4. 本件に関する処分案

「指導者資格」の「6か月停止」処分とする。

### 【案件 2】

#### 1. 対象者

役職 : 栃木県中学校教諭 同校男子バレーボール部元顧問  
保有資格 : 日本スポーツ協会公認指導員（バレーボール）

#### 2. 確認された事実 (概要)

- ・2018年6月17日（日）14時頃、東京都墨田区中学校でのレシーブ練習の際、ミスが多かったAに対し、コート内で脛をつま先で1回蹴った。
- ・6月23日（土）16時頃、神奈川県川崎市立中学校体育館での練習試合の際、レシーブミスを連続した理由で、ベンチに呼んで話を聞いているAにビンタを1回した。
- ・7月1日（日）16時頃、本校体育館において、練習試合後のレシーブ練習の際、ミスが多いAの脛をつま先で蹴った。
- ・7月7日（土）10時頃、山梨県甲斐市高校で、練習試合中、Bがスパイクミスをした際ベンチに呼び、靴を脱いで靴の底で頭を一回叩いた。  
また、同日同時刻にCがサーブミスをした際、集合をかけて、ベンチ前で左頬を1回ビンタした。  
同日14時頃、練習試合中Dがレシーブミスをした時、コートに入りレシーブの姿勢を教えた後、左頬を1回ビンタした。
- ・7月16日（月）10時頃、東京都北区中学校で練習試合中、Bのプレーが弱気になってい

ると判断し、B を円陣の前に出し、「そのミスは絶対にしてはいけない」と言いながら右手で左頬に1回強くビンタをした。

3. コンプライアンス違反と認定する理由

コンプライアンス規程第6条（禁止事項）、2（1）の暴力行為に該当するため。

4. 本件に関する処分案

「指導者資格」の「2年停止」処分とする。

※なお、日本スポーツ協会（JSP0）公認スポーツ指導員資格に関する処分は、JVA 理事会の決議結果を受けたうえで、JSP0 が最終の組織決定をするため、JVA の理事会決議とは異なる処分となる場合がある。

(6) 功労者 I 及び特別功労者表彰の決定について

功労者 I 及び特別功労者表彰の決定について説明が行われ、賛否を諮り承認可決された。

加盟団体および JVA から推薦された功労者 I 表彰候補者 3 名と特別功労者表彰候補者 1 名を 3 月 1 日に開催された表彰委員会で審議し、満場一致にて理事会に推薦することを決定した。

【功労者 I 表彰（役員関係暦）基準】

本会若しくは本会に加盟する全国的に組織されたバレーボール競技団体の役員又は本会の委員会委員及び協力社等の立場から、バレーボールの普及・発展に著しい功績のあった者で、原則として当該関係暦が 20 年以上ある者。

※功労者 I の推薦があったときは、表彰委員会で審査し、理事会で決定する。

推薦加盟団体	対象者氏名	所属団体役職
公益財団法人 日本バレーボール協会	成田明彦	元 JVA 執行役員専務 元 JVA 評議員会議長
愛知県バレーボール協会	水谷孝義	愛知県バレーボール協会副会長
一般社団法人日本 ビーチバレーボール連盟	高橋昌也	元 JVA ビーチバレーボール強化委員会委員 元日本ビーチバレーボール連盟 理事・強化委員

### 【特別功労者表彰】

表彰委員会では、2018年5月2日にご逝去された岩本洋氏の素晴らしい功績を讃えるべきと判断したが、岩本氏は功労者Ⅰ・功労者Ⅱともに表彰基準を満たしていなかった。そのため、表彰規程の中には「特別功労者表彰」は規定されていないが、特例として表彰することを理事会に提案することとした。また、「特別功労者表彰」は、功労者Ⅰ表彰と同等の取り扱いとするよう、理事会に具申いたしたい。

推薦加盟団体	対象者氏名	所属団体役職
公益財団法人日本バレーボール協会	岩本洋	元 全日本女子バレーボールチーム監督 元 アトランタ五輪ビーチバレーボール女子監督

※推薦理由の詳細は、資料記載のとおり

## 9 報告事項

### (1) 2018年度第4四半期職務執行報告について

法令及び理事会運営規程に基づき、2018年度第4四半期の職務執行報告が、行われた。主な報告内容は下記の通りである。

#### 【嶋岡会長】

- ①春の高校バレー大会視察
- ②各社、新年挨拶／賀詞交歓会出席
- ③トップリグ連携機構常務会出席
- ④JVA 感謝の夕べ 開催
- ⑤加盟団体代表委員総会開催
- ⑥スポーツビジネス展対談・講演
- ⑦FIVB 幹部来日対応
- ⑧川崎市市長表敬訪問

#### 【八田専務理事／ビーチバレーボール事業本部長】

- ①東京 2020 オリパラ NF 協議会出席
- ②JOC NF 基盤強化会議出席
- ③品川区オリパラ課へのビーチワールドツアー協力営業
- ④監査法人ヒアリング
- ⑤体罰撲滅事業計画協議（高体連・中体連方針説明）
- ⑥ビーチバレーボールワールドツアー実行委員会、強化委員会出席
- ⑦加盟団体代表委員総会
- ⑧4月に向けた人事・組織への対応



**【鳥羽業務執行理事／HP 事業本部長】**

- ①アスリート委員会陪席
- ②東京五輪大会時練習会場設営打合せ
- ③2020 プロジェクト会議出席
- ④中学生長身者合宿指導
- ⑤JOC 海外研修面談帯同
- ⑥全国指導普及委員長会議出席
- ⑦男子・女子強化委員会陪席
- ⑧JOC 強化本部会出席

**【鍛冶業務執行理事／業務推進室長】**

- ①コンプライアンス委員会出席
- ②アンチ・ドーピング委員会出席
- ③理事会・評議員懇談会準備
- ④加盟団体代表委員総会準備
- ⑤JOC 総務本部フォーラム出席
- ⑥表彰委員会陪席
- ⑦業務執行理事会・本部長会議出席
- ⑧全国ブロック理事長会議出席

**【小田桐国際事業本部長】**

- ①フジテレビ・TBS テレビ新年挨拶
- ②ワールドカップ各大会会場下見
- ③2018 世界バレー精算確定作業
- ④国際業務部・マーケティング戦略事業本部合同打合せ
- ⑤本部長会議出席
- ⑥FIVB スタッフ来日前打合せ
- ⑦NOP 入場券会議
- ⑧東京 2020 準備委員会出席

**【村上国内事業本部長】**

- ①春の高校バレー大会運営・ミーティング
- ②茨城国体ビーチバレーボール競技予算打合せ
- ③Vリーグ機構との連携ミーティング
- ④日本混合バレーボール連盟との打合せ
- ⑤第 68 回黒鷲旗大会選考委員会出席
- ⑥コンプライアンス委員会出席

- ⑦全国競技委員長研修会開催
- ⑧全日本大学バレーボール連盟評議員会出席

【灰西マーケティング戦略事業本部長】

- ①各社スポンサー挨拶
- ②ワールドカップ 2019 各会場チケット打合せ
- ③情報企画委員会打合せ
- ④TBS テレビとの打合せ（ビーチワールドツアー）
- ⑤各社スポンサー営業
- ⑥小学生大会打合せ
- ⑦本部長会議出席
- ⑧全国競技委員長研修会出席

(2) 功労者Ⅱ表彰報告について

志水表彰委員会委員長より功労者Ⅱ表彰について下記の通り報告があった。

○第9期（2018年度）第4回功労者Ⅱ表彰者

- ・生瀬 良造 元（公財）東京都バレーボール協会 副会長
- ・新沼 喜久子 宮城県バレーボール協会 顧問
- ・山崎 芳明 京都府バレーボール協会 評議員
- ・翁長 良成 沖縄県バレーボール協会 2020 事前キャンプ等誘致推進 特命顧問
- ・青木 隆昌 （一社）静岡県バレーボール協会 副会長
- ・大宮 彰 （一社）山形県バレーボール協会 常務理事
- ・藍原 壯介 茨城県バレーボール協会 常任理事
- ・甲斐 文一 宮崎県バレーボール協会 副会長
- ・廣瀬 眞弓 岐阜県バレーボール協会 常任理事
- ・菊池 洋勝 元 福島県バレーボール協会 常任理事
- ・片山 宏志 徳島県バレーボール協会 常任理事

以上をもって、議長は 14:50 に閉会を宣した。